

共生

本丸中学校
生徒指導部だより
平成29年2月3日
第9号

1月の学校の様子

3学期が始まり1ヶ月が過ぎました。全体的に生徒はとても落ち着いた様子で生活していると思います。昨年を引き続き、1月も雪の日が多く、雪の中の生活が続いています。そんな中、地域の方から生徒の様子についての話がいくつか届きました。1つ目は交通マナーのことです。雪で狭くなっている道を横に広がって歩いていて、注意しても直らない。車で通ることができず困る、というものです。これは、1学期から繰り返し注意していることです。特に道路の状態が悪いときは危険です。気をつけてほしいと思います。2つ目は、生徒が下校中に雪玉の投げ合いをしていて、その雪玉が車に当たった、というものでした。以前にも同じようなことがあり、毎年注意をしてきました。最近はなくなっていたのですが、また起きてしまいとても残念です。今回は大きな事故にはなりませんでした。雪玉が原因で車が急ブレーキをかけたり、コントロールがきかなくなったりということも考えられます。本当に危険な行為であることを認識してほしいと思います。3つ目はうれしい話です。雪で車が動けなくなったとき、本丸中の生徒が車を押してくれて助かりました、という連絡が2件ありました。どちらの方も、大変感謝されていました。最後もいい話です。雪の中、車に荷物を出し入れしていたら、本丸中の生徒が「大丈夫ですか。手伝いましょうか。」と声を掛けてくれたそうです。とてもうれしく思い、学校に連絡をくださいました。これらの話はすべて雪の生活に関係することです。しかし、その行為により、周りの人にいろいろな気持ちを生じさせます。自分の行いが周りの人たちにどんな影響を与えるのか、どんな気持ちにさせるのかを考えられるようになってほしいと思います。みんなが安心して、楽しく過ごせるような行動ができるようにしていきましょう。

今年度も残りわずかになってきました。3年生は受検や卒業に向けての準備、2年生は3月に行われる修学旅行の取組、1年生は今日行われた新入生入学説明会のメッセージ作りなどを通して先輩になる心構え作りを培っています。もうすぐ別れの時期がやってきます。最後のまとめとして、お互いにリスペクトしあいながら、最高の関わり方ができるようにしてほしいと思います。そして、最高の思い出を作りたいと願っています。



【1年生が作成した新入生へのメッセージ】

残念ながら1月に次のようなことが起こりましたので、お知らせします。

1月31日現在

- ・生徒間のトラブル 2件（指導済み1件、指導継続中1件）
- ・器物破損 1件（トイレのノブ）

トラブルや校則違反は本当に少なくなってきました。生徒がお互いを大切に思いながら生活していることの表れだと思います。何か問題が生じたときには、事実確認をしっかりと行い、行為だけでなくその背景にある心情を理解しながら、当該生徒の保護者の方と共に丁寧に指導していきます。もし、本丸中学校の生徒に関して困っていることなどがあれば、遠慮なく連絡をお寄せください。また、よい行いについてもぜひお知らせいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

本丸中学校（担当：波多野）TEL 22-2525

冬の交通安全について

寒波の影響で、積雪や凍結など道路状態が悪化しています。いつも以上に周囲の状況に気を配り、交通安全に注意してほしいと思います。以下に気を付けてほしいことを載せました。ご家庭でも話をする機会を作ってほしいと思います。

1 安全歩行について

(1) 歩道のない道路では右側通行をし、道路を広がって歩かないこと。

- ・ 普段よりも道路が狭くなっています。広がって歩いていると車が通りにくくなり、車と接触する危険性が高まります。特に傘をさしているときは、思った以上に幅が広がります。歩道のない道路では一列に歩くようにしましょう。
- ・ 自分の都合で道路の左側を歩く生徒がいます。きちんと右側を歩いている人がいると、道路をふさぐこととなります。また、左側は運転席から遠く見えにくいいため、大きく離れないと車は通行できません。歩道が左側にある時を除き、必ず右側通行をしましょう。

(2) 道路を横断するときは、必ず左右を確認すること。

- ・ 横断歩道や信号がある交差点でも事故に遭うことがあります。交差点や横断歩道の脇に雪が積まれているときは、車の運転手から歩行者が見えにくくなるため、特に注意が必要です。車の動きにはいつも注意を払いましょう。

(3) 車道への急な飛び出しをしないこと。

- ・ 飛び出しは大変危険な行為です。道路に出るときは必ず立ち止まり、左右を確認しましょう。

(4) 歩道のあるところは歩道を通ること。

- ・ 歩道を歩いても車には注意が必要です。毎年のように細い道から出てくる車との接触事故があります。細い道は左右が見通せないため、車の先端を歩道に出しながら止まり、左右を確認する車が多いです。特に雪が積もっていると見えにくいいため車を前に出すことが多くなるようです。気を付けましょう。



(5) 信号待ちをするときはできるだけ車道から離れたところで待ち、信号が青になっても周りを確認しながら歩き出すこと。

- ・ 降雪や道路凍結による乗用車等のスリップなどで、事故に巻き込まれる危険性が高くなります。油断せず、常に周りに気を配っておきましょう。雪玉を投げたり、友達とふざけたりして歩く生徒がいますが、周りに迷惑を掛けますし、自分にも危険を呼び込みます。絶対にしないようにしましょう。

2 自転車について

(1) 降雪や凍結がある期間は絶対に自転車に乗らないこと。

3 交通事故に遭ってしまったとき

(1) けがをしたり物が壊れたりしたときは、必ず警察に届けること。

(2) けが等がなくても、相手の名前や連絡先を必ず聞いておくこと。相手がいなくなってしまったときは、車のナンバーや特徴をできるだけ覚えておくこと。また、事故にあったことを家の人と学校に必ず伝えること。

※ 保護者の方にお願い…生徒を送り迎えするときは、必ず校地内で乗降をしてください。道路に停車しますと、大変迷惑になります。また、校地内でも安全に気を付け、生徒や他の車の通行の妨げにならないようにしてください。よろしくお祈いします。